

抗菌・抗ウイルス水性抗菌分散ニス「Lock3」販売 99.99%殺菌して安心を提供する



新星コーポレーションは、ドイツの Varcotec社が製造する抗菌・抗ウイルスの水性抗菌分散ニス「Lock3」の販売を開始した。

従来型の国内で普及している抗菌ニスは、金属成分によるもので、濡れた状態での効果は得られるが、表面が乾燥状態での効果ができない。しかし、「Lock3」は、乾燥した表面に室内光の照射がわずか15秒～数分で光触媒の一重項酸素が発生して細菌・抗ウイルス・真菌を殺菌する。さらにこの効果は3年間持続するとされている。

表面に付着したウイルスや菌は、大腸菌の場合は16か月まで生存するといわれているほか、インフルエンザ菌は2日まで、コロナ菌は9日まで生存するとされている。特に今年は、コロナウイルスの感染拡大という状況を受け

て、物の表面に付着した菌を除菌する方法が注目されるようになってきていることから多くの人が触れる印刷物に関する衛生面も注目されるようになってきている。

今回、新星コーポレーションが販売開始した「Lock3」は、ドイツのレーゲンスブルグ大学の研究所と、TriOpto Tec GmbH社が開発したDyphox技術（光増感剤による一重項酸素効果）で9か月間、2つの病院で1,300の抗菌実証実験を行われ、効果を得た製品。ウイルスの減菌率99.99%の効果が得られるものとして、Varcoec社では2018年から、印刷業界向けに「Lock3」を販売している。

「Lock3」は、現在、Euro圏の印刷通販サービスWirMachenDruck社やFlyerAlarm社、Cimpress社の抗菌印



水性抗菌分散ニス「Lock3」

刷で採用。Euroでの抗菌ロゴマークとして浸透しつつある。

圧倒的に高い抗菌性

現在、一般的に普及している抗菌物質の効果をみていくと、銀／銅／亜鉛の素材の場合、濡れた状態のみの効果にとどまっている。また酸化チタンの場合では、濡れた状態での効果、耐性の発達なし（ウイルスの効き目がなくなること）、UV光で活性化する、といった効果が得られる。またUV-C（有害紫外線）については、乾燥状態での効果・濡れた状態での効果・耐性の発達なし・UV光で活性化する・ナノ粒子

表面の細菌の生存期間



-  大腸菌 16 ヶ月まで
-  インフルエンザ菌 2 日まで
-  コロナ菌 9 日まで

物の表面に付着した場合